

シラバス 3年次生 (旧カリキュラム)

【専門分野 I】

科目：看護学概論 I (1 単位 30 時間 1 年次)			
目標：看護の本質を理解するために必要な看護の理念および看護実践に必要な基本的概念を学習し、自らの看護観を養う基盤とする。			
回数	項目	内容	方法
1～2	看護とは 看護の定義	看護学概論とは 看護の定義 看護の時代的変遷と発展 看護職について 看護の目的・目標・対象 ・看護実践の場 看護における倫理	講義 演習 DVD視聴 レポート①
3～4	看護の歴史的変遷	フローレンス・ナイチンゲールについて 看護概念の発展と変遷 日本の看護に関する変遷 戦後における看護の変遷と我が家の歴史 看護職者の養成制度と就業状況	講義 演習 レポート②
5～6	看護の対象	人間とは、人間の基本的欲求 人間とライフサイクル 国民の全体像：衛生統計・健康状態 現代の家族とその機能	講義 演習
7～8	看護の機能と役割	看護実践における看護者の役割・責任 看護と医療安全 健康障害と看護 看護実践と看護過程の展開	講義
9～10	健康と看護	WHO における健康の定義 健康の概念的特性 健康と自己ケア 継続看護について	講義 レポート③
11～13	看護における倫理	現代社会と倫理 職業倫理としての看護倫理	講義
	看護理論の読み取り	フローレンス・ナイチンゲール ヴァージニア・ヘンダーソン ドロセア・E・オレム 他	文献読み取り DVD視聴 演習 レポート④⑤
14	看護職者と保健医療サービス	看護職者のキャリア開発 看護職者の倫理 保健医療福祉関係者の資格と業務内容 チーム医療とは 看護の国際協力	レポート⑥ 講義
15	評価テスト	学習内容のまとめ 筆記試験	講義 試験
主たる テキスト	系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[1]「看護学概論」 医学書院 看護の基本となるもの 看護覚え書 看護者の基本的責務－基本法と倫理－ 新版 Basic&Practice 看護倫理 学研 プリント		
評価方法	出席状況、筆記試験、レポートによる総合評価		

科目：看護学概論Ⅱ（1単位 30時間3年前期）			
目標： 1. ケーススタディの意義や目的を理解し、その進め方およびまとめ方の基本を理解し、看護における研究の必要性を認識する。 2. 看護実践における倫理の概念および原則を学び、専門職業人として倫理的判断に基づいた行動ができる能力を養う。			
回数	項目	内容	方法
1～2	<研究> 研究とケーススタディ ケーススタディの進め方 ケーススタディのまとめ方 論文の発表について	研究とは 看護における研究の目的と意義 学生にとっての研究の目的と意義 研究の進め方 リサーチクエスチョン 文献レビュー 文献クリティーク ケーススタディの意義・方式 ケーススタディの進め方 文献の検索と活用 論文・レポートの書き方 目的・方法・対象・情報収集および分析の決定 研究計画書の作成 データの収集・結果の整理と分析 論文作成	講義
3～8	ケーススタディの実際	臨地実習での事例をケーススタディとしてまとめる 個別事例相談	個人演習 論文提出
9～10	<看護倫理> 看護実践上の倫理的概念	専門職者と倫理について アドボカシー 責務と責任 協力と連携 ケアリング	講義 演習
11～12	倫理的問題分析の視点	倫理の原則 自律の原則 善行と無害の原則 正義の原則 真実の原則 忠誠の原則	講義 演習
13	インフォームドコンセントと看護の役割	インフォームドコンセントと意思決定 「病名告知」のインフォームドコンセント 看護職者の役割	講義
14	行動規範	終末期ケアと看護倫理 プライバシーの保護 看護師の倫理的意思決定	講義 演習
15	評価テスト	学習内容のまとめ 筆記試験	講義 試験
主たるテキスト	わかりやすいケーススタディのすすめ方 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[1] 「看護学概論」 医学書院 Basic&Practice 看護倫理 学研		
評価方法	出席状況、レポート 筆記試験による総合評価		

科目：基礎看護技術Ⅰ 看護における援助技術の基礎 (1単位 30時間 1年前期)			
目標：看護を実践するために共通して必要となる基本的な知識・技術・態度を習得する。			
回数	項目	内容	方法
1	看護技術とは	1) 技術とは 2) 看護技術の特徴 3) 看護技術の範疇 4) 看護技術の適切な実践 安全・安楽・自立	講義
2	看護におけるコミュニケーション技術	1) コミュニケーションの意義と目的 2) 関係構築のためのコミュニケーションの基本 3) 医療におけるコミュニケーション 4) 効果的なコミュニケーションの実際	講義
3			講義
4	観察・記録・報告・の技術	1) 看護における観察 2) 看護における記録 3) 看護における報告	講義
5	観察・記録・報告の技術	1) 看護における情報 2) 情報に関する看護師の責務	講義
6	看護における学習支援の目的・学習支援を行う対象と場面	1) 学習支援の目的と意義 2) 様々な場での学習支援のあり方	講義 演習
7	看護における学習支援の方法	1) 学習の基礎原則	講義
8	看護における学習支援計画の立案	1) 学習支援計画立案	講義 演習
9	学習支援の実際	1) 健康教育の実際とリフレクション 2) 効果的な学習支援の方法の探究	発表 リフレクション
10	感染防止の基礎知識	1) 感染防止の基礎知識 2) 標準予防対策 (スタンダードプリコーション)	講義
11	感染防止の技術	1) 感染経路別予防策 2) 感染性廃棄物の取り扱い	講義
12	感染防止の技術	1) 洗浄・消毒・滅菌 2) 無菌操作	講義
13～14	感染防止の技術の実際	1) 手指衛生 2) 個人防護用具の装着 (ガウン、マスク、手袋の装着) 3) 無菌操作	校内実習
15	基礎看護技術Ⅰのまとめ	1) 基礎看護技術Ⅰ、学習内容の振り返り 筆記試験	講義 筆記試験
主たるテキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2]「基礎看護技術Ⅰ」 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3]「基礎看護技術Ⅱ」 医学書院 看護がみえる①基礎看護技術 メディックメディア		
評価方法	出席状況、筆記試験による総合評価		

科目：基礎看護技術Ⅱ 対象把握の技術 (1単位 30時間 1年次)			
目標：看護の対象者の健康状態を把握するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。			
回数	項目	内容	方法
1	ヘルスアセスメント	1) ヘルスアセスメントとは 2) フィジカルアセスメントとフィジカルイグザミネーション 3) 健康暦とセルフケア能力のアセスメント	講義
2	フィジカルアセスメント	1) フィジカルアセスメントに必要な技術 2) 全身状態・全体印象の把握 身長・体重・体型	講義 校内実習
3	フィジカルイグザミネーションとアセスメント	1) 外皮系のフィジカルイグザムとアセスメント 2) 四肢のフィジカルイグザムとアセスメント	講義 演習
4	フィジカルイグザミネーションとアセスメント	1) 頭・頸部のフィジカルイグザムとアセスメント 2) 感覚器系のフィジカルイグザムとアセスメント 3) 神経・意識のフィジカルイグザムとアセスメント	講義 演習
5	フィジカルイグザミネーションとアセスメント	1) 腹部のフィジカルイグザムとアセスメント	講義 演習
6	フィジカルイグザミネーションとアセスメント	1) 胸部(心臓・血管系)のフィジカルイグザムとアセスメント 2) 胸部(呼吸器系)のフィジカルイグザムとアセスメント	講義 演習
7~8	フィジカルイグザミネーションの実際	1) フィジカルイグザミネーションの実際 呼吸音の測定技術、腹部の聴診・触診を中心に	校内実習
9	バイタルサインの観察とアセスメント 体温	1) バイタルサインとは 2) 体温の理解とアセスメント 3) 体温測定の技術	講義 演習
10	バイタルサインの観察とアセスメント 脈拍	1) 脈拍の理解とアセスメント 2) 脈拍測定の技術	講義 演習
11~12	バイタルサインの観察とアセスメント 血圧	1) 血圧の理解とアセスメント 2) 血圧測定の技術	講義 演習
13~14	バイタルサイン測定の実際	1) 体温測定の技術 2) 脈拍測定の技術 3) 血圧測定の技術	校内実習
15	基礎看護技術Ⅱのまとめ	1) 基礎看護技術Ⅱ、学習内容の振り返り 筆記試験	講義 演習 筆記試験
主たるテキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2]「基礎看護技術Ⅰ」 医学書院 看護がみえる③フィジカルアセスメント メディックメディア		
評価方法	出席状況、筆記試験 実技試験による総合評価		

科目：基礎看護技術Ⅲ 環境と姿勢・活動に関する援助技術（1単位 30時間 1年前期）			
目標：看護の対象者の日常生活を円滑にするために援助に必要な知識・技術・態度を習得する。 環境が人間に及ぼす影響を理解し、患者にとってよりよい療養環境を整えるために必要な知識・技術・態度を習得する。 人間にとって自立した日常生活活動を支える姿勢と活動を援助するために必要な知識・技術・態度を習得する。			
回数	項目	内容	方法
1	看護における環境とは	1) 環境とは 2) 人と環境 物理的環境、人的環境とは 3) 生活環境とは	講義
2	療養生活の環境とは	1) 療養環境とは 2) 生活環境の調整	講義 演習
3	療養環境の調整	1) 病室環境のアセスメントと調整 2) ベッド周囲の環境	講義 演習
4	病床を整える技術の実際	1) 安全を考えた病床整備の実際 2) 医療安全と環境整備	講義 校内実習
5	病床を整える援助の実際	1) ベッドメイキングの技術	校内実習
6	看護における活動とは	1) 基本的活動の基礎知識 2) 良肢位・関節可動域 3) ボディメカニクス	講義
7	看護における活動の援助	1) 姿勢による生理学的影響 2) 活動のアセスメント 3) 廃用症候群とは	講義
8	姿勢・体位とは	1) 基本体位と特殊体位 2) 体位変換（移動の援助技術） 3) 安楽な体位・ポジショニング	講義 演習
9	安全を考えた活動の援助	1) 日常生活活動におけるアセスメント 転倒・転落の予防／廃用症候群の予防 褥瘡形成の予防／ポジショニング	講義
10	安全を考えた活動の援助の実際	1) 体位変換（移動の援助技術） 2) 安楽な体位と体位変換の実際 3) ポジショニングの実際	演習
11～12	安全を考えた移動援助の実際	1) 車いす・ストレッチャーへの移乗と移送の実際 2) 歩行時の援助の実際	校内実習
13～14	安全を考えたリネン交換の実際	1) 臥床患者のリネン交換の実際	校内実習
15	基礎看護技術Ⅲのまとめ	1) 基礎看護技術Ⅲ、学習内容の振り返り 筆記試験	講義 演習 筆記試験
主たるテキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2]「基礎看護技術Ⅱ」 医学書院 新体系看護学全書 疾病の成り立ちと回復の促進① 疾病と治療8 「運動器」 系統看護学講座「リハビリテーション看護」医学書院 看護がみえる①基礎看護技術 メディックメディア 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会		
評価方法	出席状況、筆記試験、実技試験による総合評価		

科目：基礎看護技術Ⅳ 清潔の援助技術 (1単位 30時間 1年前期)			
目標：看護の対象者の日常生活を円滑にするための援助に必要な知識・技術・態度を習得する。 人間にとっての清潔でこちよい衣生活を整えるために必要な知識・技術・態度を習得する。			
回数	項目	内容	方法
1	身体を清潔に保つ意義 清潔の援助の基礎知識	1) 人にとっての清潔の意義 2) 日常生活と清潔 3) 皮膚の構造と生理機能	講義
2	清潔援助に関連する身体の機能	1) 清潔援助の効果 2) 感染予防・プライバシーへの配慮 3) 清潔援助に関連するアセスメント	講義
3	病床での衣生活の援助	1) 衣服を着ることの意義 2) 熱生産・熱放散・被服気候 3) 衣生活に関するニーズ・病衣の選び方	講義
4.5	安全・安楽を考えた清潔の援助の 実際 寝衣交換	寝衣交換の実際	校内実習
6	療養生活での清潔の援助① 入浴・シャワー浴・全身清拭	1) 患者の状態に応じた援助の決定と留意点 2) 清潔援助における安全・安楽 3) 入浴・シャワー浴の援助の基礎知識 4) 全身清拭の援助の基礎知識	講義
7～8	安全・安楽を考えた清潔の援助の 実際 全身清拭	1) 全身清拭の援助の実際 2) 寝衣の交換	校内実習
9	療養生活での清潔の援助② 洗髪	1) 洗髪の援助の基礎知識 2) 病床での洗髪	講義
10～11	安全・安楽を考えた清潔の援助の 実際 洗髪	洗髪の援助の実際	校内実習
12	療養生活での清潔の援助③ 部分浴・陰部洗浄	2) 部分浴・陰部洗浄の援助の基礎知識	講義
13～14	安全・安楽を考えた清潔の援助の 実際 陰部洗浄	1) 部分浴(足浴・手浴)の援助の実際 2) 陰部洗浄の援助の実際	校内実習
15	基礎看護技術Ⅳのまとめ	基礎看護技術Ⅳ、学習内容の振り返り 筆記試験	講義 筆記試験
主たる テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3]「基礎看護技術Ⅱ」 医学書院 看護がみえる①基礎看護技術 メディックメディア 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会 カラー写真で学ぶ 高齢者の看護技術 医歯薬出版株式会社		
評価方法	出席状況、筆記試験による総合評価		

科目：基礎看護技術Ⅴ 休息・睡眠と食事・排泄の援助技術（1単位 30時間 1年後期）			
目標：看護の対象者の日常生活を円滑にするための援助に必要な知識・技術・態度を習得する。 人間にとってリラックスできる休息と睡眠を援助するために必要な知識・技術・態度を習得する。 人間にとっての食事の意義を理解し、看護の対象者に応じた食生活を援助するために必要な知識・技術・態度を習得する。 人間にとっての排泄意義・排泄の機序を理解し看護の対象者に応じた援助を行うための知識・技術・態度を習得する。			
回数	項目	内容	方法
1	睡眠と休息の意義	1) 人にとっての睡眠の意義 2) 睡眠の種類 3) 睡眠のメカニズム 4) 睡眠障害のアセスメント	講義
2	睡眠・休息の基礎知識	1) 体内時計のリズム調整 2) 睡眠を妨げる思考と行動 3) 睡眠の個別性を考える	講義 校内実習
3	安全・安楽な睡眠・休息の援助	1) 睡眠・休息のアセスメント 2) リラクゼーション	講義 演習
4	看護における休息の援助技術の実際	援助の実際（入浴・足浴・睡眠薬の使用） 温罨法、冷罨法	校内実習
5	看護における食事援助の基礎知識 栄養状態	1) 人にとっての食事の意義 2) 栄養状態のアセスメント 栄養・水分・食欲	講義
6	看護における食事援助の基礎知識 摂食・嚥下機能	1) 摂食・嚥下機能の基礎知識 2) 摂食行動のアセスメント 3) 医療機関で提供される食事の種類と形態	講義 校内実習 演習
7	看護における食事摂取の援助	1) 食事援助の基礎知識 2) 摂食・嚥下訓練 3) 非経口的栄養摂取の援助	講義 演習
8～9	安全な食事援助の実際	1) 自力で摂取できない患者の食事介助 食品の選択・食事準備・ポジショニング・嚥下機能の観察・食事量の表現 2) 口腔ケア実施	校内実習
10	排泄の援助の意義	1) 人にとっての排泄の意義 2) 排泄器官の機能と排泄のメカニズム	講義
11	排泄のアセスメント	1) 排尿、排便のアセスメント 2) 排泄動作のアセスメント	講義 演習
12	自然排尿・自然排便の援助	1) トイレ、ポータブルトイレでの排泄援助 2) 床上排泄援助	講義 演習
13～14	安全な排泄援助の実際	1) トイレ、ポータブルトイレでの排泄援助の実際 2) ベッド上での排泄援助の実際 便器・尿器での排泄援助、成人の陰部洗浄・おむつ交換	校内実習
15	基礎看護技術Ⅴのまとめ	1) 基礎看護技術Ⅴ、学習内容の振り返り 筆記試験	講義 演習 筆記試験
主たるテキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3]「基礎看護技術Ⅱ」 医学書院 看護がみえる①基礎看護技術 メディックメディア		
評価方法	出席状況、筆記試験による総合評価		

科目：基礎看護技術Ⅵ (1単位 30時間 1年後期)			
目標：看護の対象者の日常生活を円滑にするための援助に必要な知識・技術・態度を習得する。 看護の対象者の日常生活を円滑にするために、看護技術を統合して患者に適用するための能力を養う。			
回数	項目	内容	方法
1	概要	1) 学習の目的・方法 2) 援助の必要性を考える	講義 演習
2	事例患者の ニードを考 え、情報を取 集する	1) 事例紹介 2) 援助の必要性を考える 3) 患者に合った援助内容を考える	講義 演習
3		1) 情報収集のための、ヘンダーソンの視点とその内容 2) 患者のニードの状況把握 3) 情報収集シートの作成～日常生活援助の観察点を整理する～	講義 演習
4	患者の日常 生活の援助 計画	1) 設定患者に合わせた援助の計画 バイタルサインの測定・コミュニケーションを基盤とした日常生活の援助 計画の立案 実習をイメージしながら1日の行動計画を立案する	演習
5	援助の実施	1) 立案した計画の実施 バイタルサインの測定・コミュニケーションを基盤として、患者の安 全・安楽・自立の程度を考えた援助計画を実施する	演習 校内実習
6	援 助 の 実 施・評価・考 察・計画の修 正	1) 計画の実施 バイタルサインの測定・コミュニケーションを基盤として、患者の安 全・安楽・自立の程度を考えた援助計画を実施する 2) 実施した援助の評価・考察 どのように援助を行えばよいのかをベッドサイドで話し合い、援助の評価・ 修正につなげる	演習 校内実習
7	援 助 の 実 施・評価・考 察・計画の修 正	1) 計画の実施 バイタルサインの測定・コミュニケーションを基盤として、患者の安 全・安楽・自立の程度を考えた援助計画を実施する 2) 実施した援助の評価・考察 どのように援助を行えばよいのかをベッドサイドで話し合い、援助の評価・ 修正につなげる	演習 校内実習
8～9	臨地実習を 想定した計 画の実施	臨地実習の1日をシミュレーションⅠ	校内実習
10	カンファレ ンスの実施	1)カンファレンスとは 2)カンファレンスの実施	講義 演習
11～12	臨地実習を 想定した計 画の実施	臨地実習の1日をシミュレーションⅡ	校内実習
13	まとめ	日常生活を円滑にするための援助に必要な知識・技術・態度について考える	講義 演習
14.～15	看護実践場 面をとおし て看護技術 の振り返り	1) 基礎看護学実習Ⅰ終了後、患者の生活と日常生活援助について体験したこと を共有する(看護技術への関心を高める) 2) 看護実践場面を通して、患者の日常生活を円滑にするために看護技術をどの ように適用するかを考える	演習 発表
主たるテ キスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2]「基礎看護技術Ⅰ」 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3]「基礎看護技術Ⅱ」 医学書院 看護がみえる①②③ メディックメディア 別途、1冊提示予定		
評価方法	出席状況 レポート グループワークによる総合評価		

科目：基礎看護技術Ⅶ 看護過程（1単位 30時間 1年後期）			
目標：看護過程の基盤となる思考過程を理解し、看護過程の展開技術を習得する。			
回数	項目	内容	方法
1	看護過程とは	1) 看護過程の定義 2) 看護過程の展開における基盤となる考え方 3) 臨床判断能力とは	講義
2	看護過程5つの構成要素	1) ヘンダーソン看護論に基づく看護過程 アセスメント・看護上の問題の抽出・計画の立案・実施・評価	講義
3	アセスメント	1) アセスメントの方法 情報収集、情報の分類・整理 観察とは・情報の取り扱い方法 2) 事例紹介	講義 演習
4	アセスメント	1) アセスメントの方法 情報の信頼性と信憑性・O情報とS情報 分析・解釈	講義 演習
5	アセスメントの実際	1) 病態関連図と全体像	講義 演習
6	看護上の問題の明確化 (看護診断)	1) 看護上の問題の明確化(看護診断) 2) 看護診断について	講義 演習
7	看護計画の立案・実施・評価	1) 計画の立案、優先順位 2) 実施 3) 評価	講義 演習
8	紙上事例の看護過程の展開 アセスメント	1) 情報収集、情報の整理・分類・分析・解釈	講義 演習
9	紙上事例の看護過程の展開 アセスメント	1) 初期アセスメントを踏まえた情報の確認	演習
10	紙上事例の看護過程の展開 看護上の問題の明確化	1) 看護上の問題の明確化① 2) 病態関連図と全体像の理解①	演習
11	紙上事例の看護過程の展開 看護上の問題の明確化	1) 看護上の問題の明確化② 2) 病態関連図と全体像の理解②	演習
12	紙上事例の看護過程の展開 看護計画の立案	1) 計画の立案 優先順位、看護目標の設定、OP、TP、EP 発表準備	演習
13～14	紙上事例患者の看護過程の展開 まとめ	1) グループワークの発表 2) 紙上事例患者の看護過程のまとめ	演習
15	基礎看護技術Ⅶのまとめ	1) 基礎看護技術Ⅶ、学習内容の振り返り 筆記試験	講義 筆記試験
主たる テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2]「基礎看護技術Ⅰ」 医学書院 ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト ノーヴェルヒロカワ 1冊 別途提示予定		
評価方法	出席状況、筆記試験、グループワーク発表による総合評価		

科目：臨床看護総論Ⅰ 経過、主要症状、検査における援助技術 (1単位 30時間 1年後期)			
目標：健康障害のある対象者の健康状態の経過や症状・治療に応じた基本的な知識・技術・態度を習得する。 健康障害にある患者を経過別に理解しその援助を考える。 診察・検査を受ける対象への援助を理解する。 症状のある患者の特徴と症状の緩和に必要な援助技術を理解する。 臨死期にある患者の特徴と尊厳をもったケア死後の援助技術を理解する。			
回数	項目	内容	方法
1	健康状態の経過に基づく看護	1) 健康障害をもつ人の基本的な看護の考え方	講義 演習
2		2) 急性期における看護 3) リハビリテーション期における看護 4) 慢性期における看護 5) 終末期における看護 死の看取りの援助	
3	主要な症状を示す対象者の看護 安全・生体防御機能	1) 症状とは 2) 安全や生体防御機能に関連する症状を示す対象者への看護	講義
4	主要な症状を示す対象者の看護 呼吸	呼吸に関連する症状を示す対象者への看護	講義
5	主要な症状を示す対象者の看護 循環	循環に関連する症状を示す対象者への看護	講義
6	主要な症状を示す対象者の看護 栄養・代謝	栄養や代謝に関連する症状を示す対象者への看護	講義
7	主要な症状を示す対象者の看護 排泄	排泄に関連する症状を示す対象者への看護	講義
8	主要な症状を示す対象者の看護 活動・休息	活動や休息に関連する症状を示す対象者への看護	講義
9	主要な症状を示す対象者の看護 認知・知覚	認知や知覚に関連する症状を示す対象者への看護	講義
10	主要な症状を示す対象者の看護 痛み・嘔気・嘔吐	安楽に関連する症状を示す対象者への看護	講義
11	身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者への看護	1) 身体侵襲とは 2) 身体侵襲を伴う検査・治療の種類 3) 身体侵襲を伴う検査・治療における看護師の役割	講義 演習
12	身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者への看護	1) 血液検査 2) 放射線検査 3) MRI 4) IVR・血管造影	講義
13～14	身体侵襲を伴う検査の援助技術	検体検査(採血)を受ける患者の援助技術	校内実習
15	臨床看護総論Ⅰのまとめ	1) 臨床看護総論Ⅰ、学習内容の振り返り 筆記試験	講義 演習 筆記試験
主たるテキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3]「基礎看護技術Ⅱ」 医学書院 系統看護学講座 「臨床看護総論」 医学書院 看護がみえる② メディックメディア 「看護過程に沿った対症看護」学研		
評価方法	出席状況、レポート 筆記試験による総合評価		

科目：臨床看護総論Ⅱ 治療・処置別援助技術 (1単位 30時間 2年前期)			
<p>目標：健康障害のある対象者を理解し、対象者の健康状態に応じた援助の基本的な知識・技術・態度を習得する。 対象者に安全な与薬を行うための援助技術を習得する。 手術療法を受ける対象者が安全・安楽に経過できる援助技術を習得する。</p>			
回数	項目	内容	方法
1	与薬の基礎知識	1) 剤形と吸収経路 2) 看護師の役割 ①正しい与薬 ②薬の管理	講義
2	経口与薬・吸入・点眼・点鼻 経皮的与薬・直腸内与薬	1) 援助の基礎知識 2) 安全・安楽な援助の実際	講義
3	吸入・点眼・点鼻 経皮的与薬・直腸内与薬	1) 援助の基礎知識 2) 安全・安楽な援助の実際	講義
4	注射	1) 注射の基礎知識	講義
5		1) 皮下注射・皮内注射・筋肉内注射の実施法 2) 安全・安楽な注射の援助の実際	講義
6	輸液療法を受ける対象者への看護	1) 静脈内注射・点滴静脈内注射と管理 2) 輸液療法	講義
7～8	注射の実際	筋肉内注射・輸液療法の実際	校内実習
9	化学療法を受ける対象者への看護 輸血の管理	1) 化学療法の特徴 2) 化学療法を受ける患者・家族への看護援助 治療前・薬剤投与時・薬剤投与後の看護援助 3) 援助の基礎知識 4) 安全・安楽な援助の実際	講義
10	手術療法を受ける対象者への看護	1) 手術療法とは 2) 周手術期の看護 3) 手術療法の進歩 4) 手術の経過と生体反応	講義
11	術前患者の援助技術	1) 術前患者の特徴 2) 術前検査と処置 3) 術前オリエンテーション 4) 術前訪問と心理的援助 5) インフォームドコンセントと術前看護師の役割	講義 演習
	術中患者の援助技術	1) 術中患者の特徴 2) 手術室における看護師の役割	
12～13	術後患者の援助技術	1) 術後患者の特徴 2) 全身麻酔を受ける患者への援助 3) 術直後から麻酔覚醒までの援助 4) 麻酔覚醒か創傷癒合までの援助 弾性ストッキング ドレーンの種類 創傷管理の方法 5) 社会復帰への援助 6) 集中治療を受ける対象者への看護	講義 演習
14	医療機器の原理と実際	1) 医療機器を安全に使うために 2) 測定用医療機器の原理と実際 3) 治療用医療機器の原理と実際 4) 医療機器使用時の看護	講義 演習
15	臨床看護総論Ⅱのまとめ	1) 臨床看護総論Ⅱ、学習内容の振り返り 筆記試験	講義 筆記試験
主たる テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3]「基礎看護技術Ⅱ」 医学書院 系統看護学講座 「臨床看護総論」 医学書院 看護がみえる①②③基礎看護技術 メディックメディア		
評価方法	出席状況、筆記試験による総合評価		

科目：臨床看護総論Ⅲ（臨床看護総論演習）（1単位 30時間 2年前期）			
目標：健康障害をもつ対象を理解し、対象の状態に応じた援助の基本的な知識・技術・態度を習得する。 症状のある患者の特徴と症状の緩和に必要な援助技術を習得する。 患者の状態に応じて、臨床看護総論の技術を適用する能力を養う。			
回数	項目	内容	方法
1～2	呼吸困難、循環障害のある患者への援助技術	酸素吸入 一時的吸引（口腔・鼻腔・気管） ネブライザー 体位ドレナージ	校内実習
3～4	排便困難のある患者への援助技術	浣腸	校内実習
5～6	排尿困難のある患者への援助技術	導尿	校内実習
7	救急蘇生法	CPR（心肺蘇生） BLS	校内実習
8	症状のある患者への援助の計画立案	1) 設定患者の説明 2) 症状のアセスメント	講義 演習
9		3) 症状緩和への援助計画の立案	演習
10～11	症状のある患者への援助の実際	1) 症状緩和への援助技術の実施 2) 症状緩和への援助技術の評価、計画の修正	校内実習
12～13	症状のある患者への援助の実際	1) 症状のある患者への援助の実施 シミュレーション	校内実習
14	症状のある患者への援助の実際	1) 実習のまとめ・評価	演習
15	臨床看護総論Ⅲまとめ	1) 臨床看護総論Ⅲ、学習内容の振り返り 筆記試験	演習 筆記試験
主たるテキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2]「基礎看護技術Ⅰ」 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3]「基礎看護技術Ⅱ」 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[4]「臨床看護総論」 医学書院 看護がみえる①②③ メディックメディア 1冊 別途提示予定		
評価方法	出席状況 筆記試験 レポート		